

第 56 回新大先端化学セミナー

～先端光化学ミニシンポジウム～

日時：2024 年 12 月 5 日(木) 14：50～17：30

会場：新潟大学五十嵐キャンパス総合研究棟(物質・生産系) 1 階 161 演習室

主 催： 理学部化学プログラム・自然科学研究科数理物質科学専攻化学コース

共 催： ユビキタスグリーンケミカルエネルギー連携教育研究センター

〈概要〉

人工光合成や次世代太陽電池など、光エネルギー変換に関わる科学技術の重要性が近年ますます高まっています。今回、光化学研究において著名な小堀康博教授(神戸大学)をお迎えし、公開講演会を開催する運びとなりました。小堀教授は光合成タンパク質や有機太陽電池材料、多重励起子生成材料など様々な分子系において、時間分解電子スピン共鳴(ESR)を用いた光反応初期過程の可視化に成功してきました。顕著な業績が認められ、光化学協会賞(2019 年)や分子科学国際学術賞(2019 年)を受賞されています。

今回は光化学研究に関連した 2 名の学内研究者も交え、ミニシンポジウムを開催いたします。皆様の御来聴お待ちしております。

〈プログラム〉

14：50～14：55

趣旨説明

14：55～15：25

「有機薄膜太陽電池材料における光生成キャリア動力学と磁気制御」

新潟大学理学部化学プログラム 三浦 智明 准教授

15：30～16：10

「固体表面における光化学」

新潟大学工学部材料科学プログラム 由井 樹人 准教授

～休憩～

16：30～17：30 (5 時限目)

「励起子による光エネルギー変換：ノイズが生む量子コヒーレンスの観測」

神戸大学分子フォトサイエンス研究センター 小堀 康博 教授

連絡先：理学部化学プログラム 三浦 智明 (t-miura@chem.sc.niigata-u.ac.jp)